

自

学校法人 本庄学園 園分幼稚園

本幼稚園は教育基本法及び学校教育法に従い幼児教育を行うことを目標とし、幼児期の3才～5才迄の極めて大切な時期に形成される「興味関心・意欲・社会ルール・生活の秩序等々」を、人格形成の基礎と考え、その大切な幼児期の教育を且つて、最も大切な人格の芯（徳育）を育てるものである。

1. 教育目標

当園は2歳～5歳の障害児をも含めた子ども達が、共に生活する混合クラスであり、さまざまな子どもが生活する中で思いやり、いたわり、尊敬、憧れといった心を育て、個性や人格を自らの努力で育ててほしい子どもが主人公の幼稚園を目指します。  
子どもの内なる叫びは「わたしがひとりでするように手伝って」です。すべてを偶然に任せるのではなく、子どもの成長に科学的注意と世話を向けつつ子どもの自発的な活動を促し、行事やカリキュラムに追われずに、ひとりひとりがじっくりとくり返し、満足のいくまで活動が続けられるよう、私達はよりよい自立への援助者として、深い愛情で子どもを見守り、適切な手助けで子どもと共に学ぶことを目標とします。

2. 評価項目・実践評価

評価項目	評価	評価状況
1 教育目標・方針	A	園の教育方針について、教師による打ち合わせを毎放課後実施し、より良い保育を確認しあって理解を深めている。
2 指導要録作成・評価	A	子どもたち個々の活動結果を毎日、記録する。学期毎に評価表に記入したり、特別支援の子どもには個別支援計画を作成し学期毎に評価する。年度末にまとめて指導要録を作成する。
3 教育研修・研究	A	モンテソーリの夏季研修・大会、また各協会開催の研修会に積極的に出席し知識を深めている。また、市内の諸々の情報を交換し合い、相互に技術・知識の向上を図っている。
4 教育指導	A	父兄からの連絡ノートを確認し合い、随時対応をして、父兄も一緒になって子どものより良い成長の達成を願い、行動をしている。

5 報告・連絡・相談	A	毎月の保護者会によって家庭・園の状況を確認し相互に理解し合っている。また、毎日の教師の打ち合わせにより全教師が子どもに向き合って対応している。
6 安全・衛生管理	A	園庭での遊びや、園舎での行動中も各教師が目配り安全・衛生に配慮をしている。特に水周り、トイレ等は徹底して清潔にしている。学期毎に道具点検をし、その結果を保護者に知らせる。
7 その他	A	子どもたちが自主的に行動をし、自ら動けるように配慮をしている。

評価基準

A	達成できている
B	やや不十分
C	不十分

3. 幼稚園の自己評価

毎日の連絡ノート、教師の打ち合わせ、毎月の保護者会等で父兄との結びつきは深くなっており、お母さんが子どもの状況を忌憚なく話してもらえるのが一番です。毎日園が終了しても、園庭は常に開放をしているので、遅くまで子どもが遊んでいくのを見ているとこれで良いのだと思う。

幼稚園自己評価採点表

自

令和5年度

A	達成できている
B	取り組みはあるが結果が不十分
C	取り組みが不十分

記入者 園長 鈴木敬子

1		
①	園の教育方針を理解し共感して保育している。	A
②	園の経営を理解し、教職員がそれに添って保育ができています。	A
③	保育者として一貫した態度で子どもに向き合い、自分の都合で善悪の判断を変えたり、子どもとの約束をたがえたりしない。	A
2		
①	年間・毎月・毎週の保育計画を年間行事に沿って立てている。	A
②	子どもが明日の保育を楽しみにしながら喜んで登園できるよう、季節や子どもの関心・発達段階を考慮し、週や月ごとの生活や活動がどうなるか予測し保育計画を立てる。	A
③	子どもの一日の姿を思い出しながら、客観的な保育記録をつけている。	A
④	子どもの成長発達を学期ごとや年度ごとに簡潔にまとめ、評価表や要録をつけている。	A
3		
①	研修会に参加し記録を取って、他の保育者にも報告をする。	A
②	保育者として自分に足りない技術や知識を自覚し練習をしたり、本や新聞等で情報を得る。	A
③	環境整備や教材準備など、他の保育者と協力し合いながら行う。	A

4		
①	子どもと生活を共にし遊びを共有しながら理解につとめる。	A
②	一人一人の子どもの独自性に配慮し子どもに応じた対応を行う。	A
③	障害を持つ子どもの理解につとめ、障害に応じた配慮・対応を行う。	A
5		
①	登園時に子どもの体調について保護者から情報を得て、特に病み上がり子どもには配慮している。	A
②	保護者からの投棄依頼をきちんと行い、体調の変化がないか注意深く見守っている。	A
③	けがや体調不良の子どもが病院での治療が必要な場合は保護者に迅速に連絡をしたり降園後、適切に報告する。	A
④	子どもの生活を保護者に伝えたり、保護者の思いを聞きとるよう連絡ノートを書いている。	A
⑤	始業時には余裕を持って園に入り、遅刻・早退・欠席をしない。	A
⑥	良い勤務ができるよう生活を整え、私生活の喜怒哀楽を持ち込まないよう心がけている。	A
⑦	打ち合わせや職員会議で他の保育者の意見を聞いたり、自分の意見を積極的に発言する。	A
⑧	他の保育者に自分のクラスの子どもの姿を聞いたり、逆に他のクラスの子どもの姿を保育者に伝えたりする。	A
6		
①	子どもの遊びを見ながら遊具の安全点検をし、遊具の破損は見逃さずに補修する。	A
②	子どもの生活の跡を振り返りながら清掃をし、翌日の準備をする。	A
③	保育中もトイレが清潔になっているか気を配り、汚れている場合はその場で清掃する。	A

④	衛生に配慮し、子どもが口にするもの（コップ・歯ブラシ等々）の衛生やお弁当の管理に配慮している。	A
---	---	---

7

①	保護者と話す時、節度ある言葉使いで園の方針に従って話す。	A
---	------------------------------	---

②	保護者に細かく目配りをして子育て支援を行う。	A
---	------------------------	---